

「大島かけはし」は、地域住民の皆様へ大島架橋事業に関する情報をお伝えするものです。

大島架橋事業は、今年度、本土側現道の測量と予備設計を行います。

## ～第7回「気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」実行委員会 を開催しました～

第7回「気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」実行委員会が下記のとおり開催されました。  
今回の実行委員会では、「第3回気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の開催結果と、次のテーマである「大島振興と架橋を考える上での課題の対応策」の役割分担について、熱心な意見交換が行なわれました。

### 記

日 時 平成22年1月28日（木） 午後1時30分～午後3時

場 所 宮城県気仙沼合同庁舎4階大会議室

内 容 1 開 会  
2 挨拶 実行委員会委員長 菅原 昭彦 氏  
3 議 事 ○「第3回気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の開催結果について  
○「大島振興と架橋を考える上での課題の対応策」の役割分担について  
○今後のスケジュールについて

4 閉 会

委員長あいさつ



実行委員会の状況



実行委員会委員の意見発表



事務局による説明



## 【実行委員会結果について】

### 1. 議 事

議事1：「第3回気仙沼大島振興と架橋を考える懇談会」の開催結果について

- 1) 参加者が少数だったことについては、「出前講座」などを利用して、住民の意識を高め、課題について周知を図っていくこととしました。
- 2) 懇談会時に出された、懇談会名称の変更要望については、変更せず、継続することとなりました。

議事2：「大島振興と架橋を考える上での課題の対応策」の役割分担について

事務局より、前回、第3回懇談会で整理された「課題の対応策」毎に関係団体を抽出した「役割（検討）分担表」の提示と、今後、対応策を担っていく、「新組織」の立ち上げについて議案が出されました。

（実行委員より下記の意見が出されました。）

- ①全ての対応策の検討に住民を参加させるべきではないか。
- ②作業部会は、対応策内容を区分けして、部会数を集約して欲しい。
- ③作業部会への住民参加を促す際は、住民が参加しやすい呼びかけ方法を検討すること。
- ④新組織立ち上げなど、平成30年度までの今後のスケジュールを作成すること。

（事務局の回答）

当実行委員会で出された意見を踏まえて、次回までに作業部会などの具体的なイメージを作成し提示します。

議事3：今後のスケジュールについて

- ①第4回懇談会の開催日・開催場所：平成22年3月14日（日）大島島内で開催します。
- ②出前講座：平成22年2月26日（金）大島中学校の生徒を対象に開催します。
- ③第8回実行委員会を第4回懇談会前に開催します。（日程は調整中です。）

議事4：その他

- 1) 気仙沼市の取り組み状況、対応方法について（熊谷委員：気仙沼市企画部長）

市において、架橋事業を最重要プロジェクトと考え、庁内の関係課で構成する横断的組織を立ち上げ対応を検討している。

- 2) 気仙沼市議会大島架橋・唐桑最短道建設促進特別委員会からの提案について

当該特別委員会より、実行委員会との懇談会の申し入れがあり、第8回実行委員会と同日に実行委員会終了後に開催することとなりました。

大島架橋についての「お問合せ」は こちらまで

宮城県気仙沼土木事務所 道路建設班

〒988-0034 宮城県気仙沼市朝日町1番1号

TEL.0226-24-2546(直通) E-mail:ksdbk@pref.miyagi.jp

気仙沼市 建設部 三陸道・大島架橋・唐桑最短道・本吉バイパス整備促進課

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

TEL.0226-22-6600(内線567) E-mail:project@city.kesennuma.lg.jp